

地域学に関して考えてみよう。地域を科学的に分析する方法と、生涯学習事業としての地域学があり、我々の位置づけは後者であろう。地域がその主体性において発展しうるためには、我が郷土の先人（高槻名誉市民）が暮らした地域の特性、歴史の特殊な伝統などを顕彰することで、その時代の背景を通じて風土を知ることができる。そのために我が会は「名誉市民に関しての、生い立ち、歴史、風習、などに関し講座を開催し地域理解を深める。」を目指している。しかしこの理念は、最終目標である地域の活性化や、再生プロセスのための行動であるにすぎないのであろう。次のステップとして、新しい学問としての地域学を追求するのも、興味がある。（馬淵）



高槻市プロキヤクガクはごたん

### ■第四回高碓達之助研究会開かれる

さきの大地震後初となる例会が 7/2（月）Pm2:00～4:00 クロスパル高槻第二会議室において、“高碓達之助研究会（角芳春代表）”が開催され、第四回目は東洋製罐創設“起業家精神を語る”と題し甘田外成研究員（東洋製罐元専務）に講演していただきました。

まだまだ我が町では強い余震もあり、大地震の傷跡癒えぬ中 30 名以上のご参集をいただき、東洋製罐(株)設立（1917 年）前後の企業人、そして技術者としての高碓達之助翁の功績についてのお話を聞き、そして活発な質疑応答をしていただきました。改めて翁の多才な人柄がしのべれます。

#### エピソード

ネットで見つけた中国メディアが伝えるニュースです。

戦時中日本軍が中国農村部の地中に埋めた補給箱が見つかったそうで、中身の質が全くかわらず、当時の日本の高い製缶技術に驚いています。

これは高碓達之助翁の製缶技術にかけた功績の一端なんでしょうか？ なんとなく中国と当時の我が国の製缶技術と高碓翁との不思議なご縁を物語っているようです。（宮本）

### ■高碓達之助研究会予定 於：クロスパル高槻

回	日	題目	講演者
5 回	8/6	満洲に渡るまでの高碓翁	北村正信氏 (元茨高教師)
6 回	9/3	満洲時代の高碓翁	北村正信 (元茨高教師)
7 回	10/1	映像で見る 庄川桜	講師交渉中

### ■8/6 の講演にあたり

北村正信

#### 『満洲を学ぶ過程で初めて知ったこと』

高碓を学んでいくうちに、彼の満洲での体験が「高碓をより高碓らしくしたのではないか」と思うようになりました。私は、満洲のことは日本史としてはほとんど学んでいないことにも気付き、また、興味関心もありませんでした。今回、高碓が満洲重工業総裁に就任する前から、高碓を中心として満洲を調べ直していく過程で、「昭和のコレクター」といっても良い飯田氏と知り合い、彼の膨大な資料、特に満洲関連の資料を見せてもらう機会を得て、教科書や世間でいわれている満洲とは別の面（関東軍の満洲ではなく、鮎川達の理想の国）が少しずつ分かってきました。しかし、歴史学者といわれる人達は、古代史学者も同じですが、表面的な資料など“常識”すなわち通説から離れた意見や説を発表すると、攻撃や無視されその分野で異端視されるのです。超？古代史にも関心のある私は、その点をよく知っています。彼の膨大な資料を読み込むのに現時点では時間が殆どありませんので、目をひいた項目だけを挙げて、いずれ皆さんが興味を持たれましたら報告する機会を得たいと思います。

参考本：「幻の満洲ユダヤ国家」と河豚計画（堤昌司）、ユダヤ人を助けた杉原千畝は有名ですが、「樋口季一郎・二万人のユダヤ人の命を救ったある軍人の武士道」（歴史街道 稲生達朗）。

#### 【お知らせ！】

後援先である「高碓達之助に学ぶ会」総会が行われます。

●日時：平成 30 年 8 月 6 日 15：30～

●場所：クロスパル高槻第一会議室

【語り継ぐ会連絡先】 馬淵晴彦

FAX:072-689-3674

メール:h\_mabuchi@office.zaq.jp

HP : <http://takatuki-meiyosakura.ne.jp/>

NPO 法人

高槻名誉  
市民を語り  
継ぐ会